

## EPS工法

## EPS工法 [発砲スチロール土木工法]

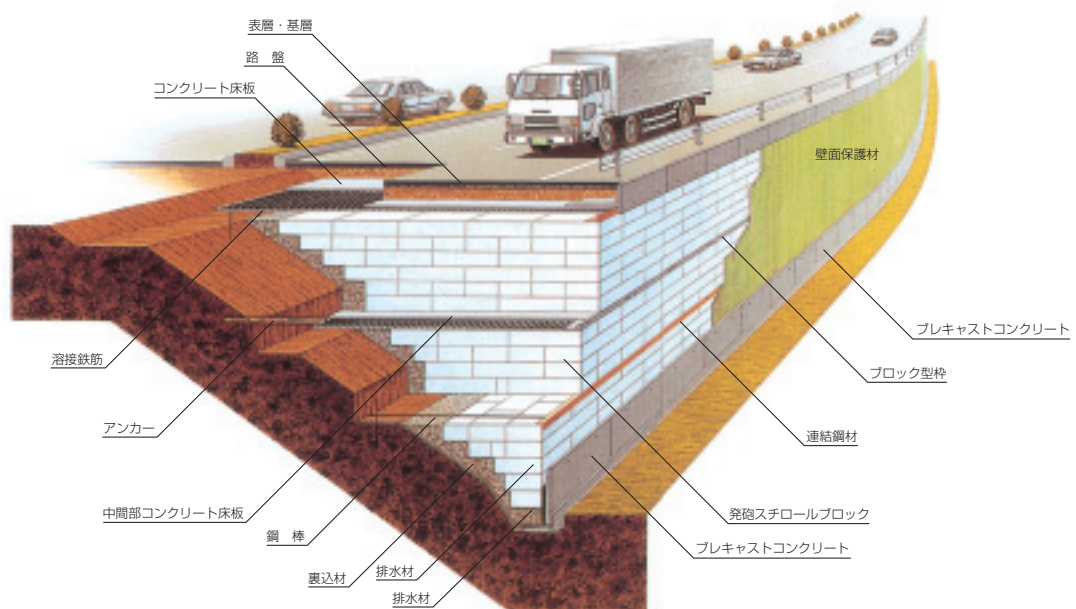
大型の発砲スチロールブロックを盛土材料として積み重ねていくもので、材料の超軽量性、耐圧縮性、耐水性および積み重ねた場合の自立性等の特長を有効に利用する新しい工法です。

本工法は、軟弱地盤の盛土、急傾斜地盛土、構造物の裏込め、直立壁、盛土の拡幅などの荷重軽減および土圧軽減をはかる必要のあるところに適応できます。

本工法の施工は大型建設機械を必要としないため、重要構造物への接近施工、周辺環境などへの配慮が緩和されます。また、短期間での施工と合わせて地盤処理、仮設工事などが簡略化されるなど全体工期が短縮できます。

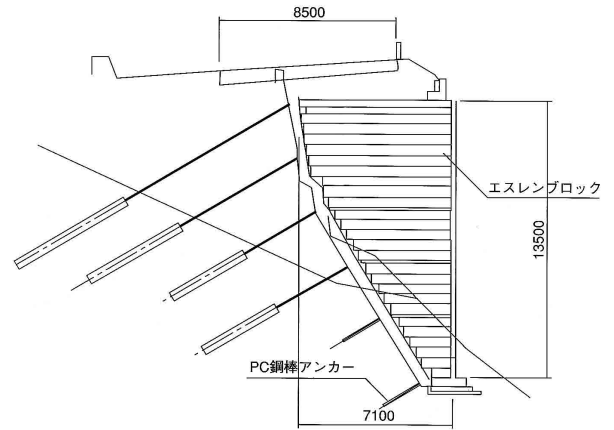
さらに、完成後の維持管理を含めた全体工費を低減できるなど、数多くのメリットを持っています。

- ① **圧縮性**……圧縮強度は、50mm立法の試験片で1～3kgf/cm<sup>2</sup>を示し盛土としての必要強度を十分に満たしています。
- ② **吸水性**……独立気泡のため表面に微水量の水が浸透するだけで、それ以降はほとんど吸水しません。
- ③ **耐熱性**……75°～80℃以下では通常の使用では問題ありません。
- ④ **燃焼性**……難燃性品の場合は着火しても火元を取り除けば3秒以内に自動消化します。
- ⑤ **耐薬品性**……一般に酸・アルカリ・塩酸などに優れた抵抗性を持ちますが、ガソリンや灯油などに溶解しやすいという性質があるため、コンクリートやシートなどで表面を被覆します。
- ⑥ **断熱性**……微細な独立気泡からなる構造体のため熱を通しにくい特性を持っています。



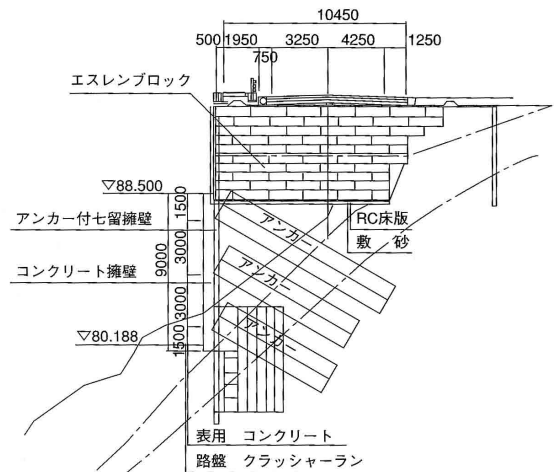
EPS工法の施工例

◆急傾斜地拡幅（山岳道路）



施工場所：神奈川県  
施工時期：1990.12 施工量：D25 1,300㎡

◆急傾斜地拡幅（補強土擁壁下部）



施工場所：長崎県  
施工時期：1993.3 施工量：D20 3,345㎡

◆林道開設（緑化EPS）

